



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<http://www.dai1-tyu.ichikawa-school.ed.jp/new/>

令和4年度 第8号

校長 石原 一幸

令和4年12月6日

12月になりました。

桜並木は、葉がすっかりと落ちました。青い空と桜の枝を見ながら歩いていると、枝の先には桜のつぼみが花を咲かせる準備をし始めています。まだ先の春の準備を進めています。

12月はこれまでの生活と学習のまとめをします。自分自身に成果と課題を見出し、豊かな自己実現を図ってほしいと考えています。桜のように、次の自分に必要なことを生徒には考えてほしいと思っています。



12月の美術部の作品

冬休みの生活について 有意義な冬休みをすごしましょう

冬季休業期間は、12月24日から1月5日までの13日間です。事前に学級で指導するポイントは以下の7点になります。

- 1 「新しい生活様式」を意識しよう
- 2 具体的な予定を立てて規則正しい生活をしよう
- 3 計画的に学習を進めよう
- 4 常に健康を意識しよう
- 5 帰宅時間を守ろう
- 6 自分と自分のまわりの人の命を大切にしよう
- 7 ルールを守り充実した部活にしよう
- 8 部活以外で登校するときの約束
- 9 その他気を付けること

12月26日から1月3日までは、閉庁日となり学校には人がいません、原則、部活動はありません。

生徒に大事にしてもらいたいことは二つあります。

一つは、健康管理、安全管理です。体の免疫機能を維持し、コロナウイルスに対抗できる健康な体づくりに努めてもらいたいです。マスクの着用と手洗い、早寝早起き、食事をしっかりとるなど、日常でできていたことを冬休みも継続していくように指導します。自転車の乗り方についても気をつけさせたいところです。先日のPTA学校委員会で自転車にライトがついてない自転車の無灯火運転が話題になりました。暗い中で使用するときには車を運転している人に光で自分の位置を知らせることは命を守ることにあります。

もう一つは学習のことです。学習面については復習を丁寧にするなど3学期に備えてほしいと思います。特に、3年生には、13日間の休みを上手に活用し、高校入試に備えていただきたいです。日々の取り組みが習慣となり、力を伸ばします。

1学年は浅草へ 2学年は鎌倉へ 生徒の主体性を育てる体験学習の展開

11月11日 1学年が浅草・上野下町へ校外学習に行ってきました。総武線各駅停車を中心に移動しました。待ち合わせから班ごとに動きます。待ち合わせ場所は市川駅周辺というグループもありました。市川駅周辺は広くて困ることには気づかなかったようです。まずは、体験活動をグループごとに行いました。江戸切子、お箸づくり、からくり屏風、風鈴、銀のしおりの5つの体験活動を選び行いました。昼食のあとは、上野方面で活動を行いました。

作文交流をしている生徒の作文に、校外学習のことが載っていました。今回の校外学習は夏休み明けぐらいから準備を始めていたそうです。「2か月の準備が1日で終わってしまったのは悲しいけれど、とても楽しい思い出に残る校外学習になりました。」と書かれていました。私は浅草寺を中心に活動の様子を見ていましたが、みんな仲良く活動をしていました。

11月10日 2学年は鎌倉に校外学習に行ってきました。

総武線快速にのって鎌倉方面へ。電車の中から班活動は始まっています。北鎌倉で降りる班、鎌倉で降りる班がいます。ここから練りに練った計画の実行がスタートします。

班は全部で30班。一クラス6班の編成です。班長、副班長会計、保健美化、食事、学習の5つの役を分担し、班員一人一人が活動について責任を持ちます。私は当日、レンタル自転車を使い生徒が行くところを回りました。私は予告なく突然生徒たちの前に現れ、「順調ですか？」と声をかけると、「だいじょうぶです」とほとんどの班から返事が返ってきました。ばらばらになっている班はありませんでした。

1学年は、今年は班行動が生徒と職員との協働で実施することができました。計画はばっちりだと思ったのに、実際に動いてみたら気づいていなかったことがあったなど、失敗の経験ができたことは来年の鎌倉につながります。また、教職員の手から少しはなれ、自分たちで公共交通機関を使って目的のところまで行く経験は、少し生徒をたくましくしました。実りの多い校外学習になりました。

2学年は、今年の校外学習は、自主性を養う、来年の修学旅行、今後の学校生活につなげるということが目的でした。実行委員長の言葉に「今年の校外学習よりも、今年の校外学習はよりランクアップするはずです。なぜなら、昨年に経験、反省があるからです。昨年と同じような反省がでないようにしましょう。今年の校外学習は準備がとても大変だと思います。ですが、その壁を乗り越えた後には必ず楽しい思い出に残る校外学習があるはずです。」とありました。今回の鎌倉学習で体験したことをもとに成果と課題を整理し、来年の京都・奈良での活動に生かしてほしい。実行委員長の言葉のように、さらにランクアップした行動がみられることでしょう。

一中フェスタで学び・感動・感謝の心

11月5日、講師の方々のご協力ですべて19の講座の開設をお引き受けいただきました。お忙しい中、ありがとうございます。PTAの方を中心に企画調整し実現にむけて準備し、当日を迎えることができました。ボランティアで係を引き受けてくださった方多くの皆様のご理解とご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。

介護体験をした生徒の感想にこうありました。「今回は介護についてたくさんを教えてくださいました。もし、おじいちゃんやおばあちゃんに介護が必要になったら今日の経験を生かしていこうと思います。」それぞれ貴重な体験をし、有意義な時間を過ごすことができました。生徒の心のうちには、強く残ることがありました。

生徒の中で大切な行事の一つ、第一中学校ならではの一中フェスタ。楽しい学校生活の思い出作りが行事の役目の一つとしてあると思っています。学校生活に活力を生み、それは学校を愛する心や地域の根差す地域愛につながっていくと考えています。

後期学校評価について よろしく願いたします。

前期の学校評価アンケートではご協力をいただきありがとうございました。いただいたご意見は数値で分析し成果と課題で整理し、後期の重点を考え取り組んでいるところです。後期の学校評価アンケートは前期と内容も方法も同じでございます。ご協力をお願いいたします。